



新しい風Sammu 小山 和典 議員

小松地先市有地について

問 日本大学から本件土地を無償譲渡された際、約2万2000㎡のうち約8000㎡が保安林であったことは認識していたのか伺います。

答 総務部長 当該土地に保安林を含んでいることは認識していましたが、詳細な面積や位置は把握できていなかったと思われます。

問 本件土地の除草業務に要した経費について、日数や金額に整合性が取れない理由を伺います。（令和2年度は175日間・148万円、令和3年度は171日間・220万円）

答 総務部長 除草の実回数に応じて費用が発生する業務契約であったため、工期の長さや委託金額は比例しない場合があります。

問 残土問題の責任の所在として、関係職員の処分の状況を伺います。

答 総務部長 第三者委員会からの報告書を受け、慎重に事実確認を進め

ています。職員の処分の量定等は、顧問弁護士と相談し、職員の分限懲戒等に関する審査会を経て決定していきます。

行財政運営について

問 さんぶの森ふれあい公園多目的広場等は85%借地で586万円、蓮沼スポーツプラザは84%借地で319万円、蓮沼野球場はすべて借地で176万円の借地料がそれぞれ発生しています。

賃借契約期間ならびに土地の買取りについて市の見解を伺います。

答 教育部長 借地部分の契約期間は、さんぶの森ふれあい公園多目的広場は平成10年8月から令和10年7月までの30年間、蓮沼スポーツプラザおよび蓮沼野球場は令和3年4月から令和8年3月までの5年間です。今後、公共施設の適正配置を進める中で、賃借契約更新時の対応を検討していきます。

問 施設の統廃合にかかる費用の財源となる「合併特例債」の仕組みと、施設解体費用への活用可否を伺います。

答 財政課長 合併特例債の充当率は95%で、発行額の70%が地方交付税として後年度に措置されます。

解体費用は、同じ敷地内への建て替えは対象となるため、成東学校給食センターは合併特例債を活用しています。なお、さんぶ医療センターの解体費用は病院事業債を活用する予定です。



新しい風Sammu 玉置 美津恵 議員

山武郡市広域行政組合 東消防署建設工事

問 東消防署の建設工事が休止し、施工者との協議も進まなかったと聞いていますが、協議内容を伺います。

答 副市長 山武郡市広域行政組合消防本部に問い合わせを行い、公表されている部分や、すでに報告を受けた部分について、可能な限りお答えします。

ただし、市の事務でない部分や、紛争審査会の手続きが進行中の部分はお答えできません。

答 総務部長 土工事に係る工法の山留・水替工事が、追加工事であるか否かが主な協議内容であり、組合側は「入札時に見込むべき内容で、本体工事に含まれる」と主張するのに対し、施工者側は「入札時の設計図書、数量書に記載がなく、入札時に見込めないため追加工事である」との主張があったと聞いています。

問 本設計は、過去に行った建設工事と同程度の土工事であり、掘削の深さおよび用地が同じような土質性状、地下水位等であるとの理由から、過去実績をもとに判断されており、実際の現場の安全性ではありませんでした。組合が施工可能と主張するオープンカット工法で工事を行った先に起こりうる事故を想定し、協議されたのか伺います。

答 総務部長 紛争審査会の手続きが進行中のため、施工者と当該手続きを介した協議も行う予定で、回答を控えるとのことでした。

問 発注時点で予測し得なかった現場条件は、双方の協議による設計変更の対象となり、追加費用が認められます。

東金労働基準監督署の調査に、組合は立会いを行い、オープンカット工法による実証試験をすると「湧き水が生じ、それに伴い掘削面が崩落する恐れがあり、掘削作業を行うことで労働災害の可能性がある」と指導を受けている中、なぜ、設計変更をしなかったのか伺います。

答 総務部長 紛争審査会の手続き進行中のため回答を控えるとのことでした。

オープンカット工法とは？
土壌の安定勾配を利用して、山止め壁を設置せずに地表面から順に掘削を進めていく工法